



宮崎発

GFP (ジーエフピー) という言葉をご存じでしょうか。GFPは2018年8月に農林水産省が立ち上げた農林水産物・食品輸出プロジェクトで、生産者・輸出業者等が交流を図るコミュニケーションのサイトがあり、登録者数は今年7月末で1633件(うち本県55件)です。

GFP訪問診断

産者等は無料で輸出の可能性などについて、専門家による訪問診断が受けられます。具体的には、GFP事務局、ジエトロ、宮崎県、九州農政局の担当者などが一緒に訪問し、輸出に関する課題へのアドバイスなどを行います。県内では、これまでにお茶、鶏卵、水産物、加工食品等の登録者に対して17件の訪問診断を行いました。

先般訪問した早川しょうゆみそ(都城市)は、有機みそをドイツなどへ輸出業者を通じて輸出を行っています。新たに開発した「粉末みそ」をEUや米国等へ直接輸出

輸出に関する課題解決

をしたなどの意向があり挙げられました。また。その際の課題として、業者とのマッチングが難しい、現地ニーズ内でのマッチングがつかみづらい、輸送コストがかかることなどを



早川しょうゆみそ担当者によるGFP関係者への説明の様子

ストーリーなど、英語でのアピールが重要であること、来年1月に米国で展示会が開催されること、輸送費用を抑えるための航空便の活用方法などのアドバイスを、一定の課題解決につながりました。

輸出に関心はあるもののなかなか踏み出せない方はぜひ、GFPに登録し、訪問診断を受けてみてはいかがでしょうか。なお、GFPや輸出に関するご相談は、九州農政局宮崎県拠点で受け付けていますので、お気軽にご連絡ください。(九州農政局宮崎県拠点総括農政業務管理官・上田英信)

第1土曜日掲載

県内経済ニュースは「デジタルタリプレみや」にも掲載

FAX 0985-23-3916
E-mail keizai@the-miyazaki.co.jp